

様式B

令和4年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立中之島幼稚園

教育目標

ゆめ	重点目標	具体的取組		取組の状況
主体的に遊ぶ子供を育てよう	学びが生まれる豊かな環境を探る	豊かな感性や心情を育む	自然環境の充実	四季折々の身近な自然物を遊びに取り入れ、様々な事象に興味や関心をもてるようにしてきた。虫取りを楽しめるよう花を植えたり雑草を残したりし、子供たちが自然と触れ合えるような環境を大切にしてきた。自分で、野菜を育てたり、収穫した物を家庭に持ち帰ったり、園で調理したりすることで、食育にもつなげられているのではないと思う。
			人とのかかわり	相手に自分なりに言葉を伝える姿を見守り、共感してもらう楽しさや喜びを感じられるように、時には言葉の橋渡しをするなど援助してきた。友達や先生と心を通わせ、異年齢で遊ぶことで、相手を思いやる気持ちや自分より大きい友達に憧れる気持ちを育んできた。
		伸び伸びと子供を主体的に遊べる子供を育てる	豊かな環境	子供たちの興味や関心が広がるような遊具や用具を準備し、その配置も工夫してきた。園庭の環境は子供の遊びの導線を考え、ボール遊びなど伸び伸び出来る場所を確保するなど安全面を意識し見直ししてきた。豊かな学びや子供たちの感動体験が生まれるように今後も子供たちの遊びを見ながらその都度、見直し改善していきたい。
			遊び込める力	自分で好きな遊びを見つけ、しっかりと遊び込める時間を確保し、考えたり、試したり、工夫したりする力が育めるように環境構成を行い、満足感や充実感が感じられるようにしてきた。
		と地域の連携や保護者、に小学校	小学校との連携	コロナ禍での連携交流で何が出来たかを双方で話し合い、教職員の交流からはじめ、互いの教育観を学びあう機会を設けてきた。園児と児童の交流は、ペア学年や子供のペアを決めて、主体的な交流が出来るように計画し実施してきた。
			保護者との連携	遊びでの子供の成長や学び、育ちについて園だより、クラスだより、ホームページ等で知らせ、また保護者の方からは、家庭での様子を伝えてもらうなど、子供の育ちを共有し保育に活かせるようにしてきた。
			地域への発信	地域のコミュニティとして子育て支援を充実させるため、来年度入園予定年齢の未就園児の集いを行っているが、入園前から、保護者同士のつながりが出来、子育てについて情報交換をする機会になっている。園から地域への働きかけが少ないので、来年度は地域との連携に努めていきたい。

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

『主体的に活動できる子供を育てる』では高い評価を得ており、子供が何に興味があるのかを把握し、「やってみたい」と思えるような環境を作り、また育てほしい子供像をしっかりともちながら保育に取り組んでいることを理解していただいている。自然に関われるような工夫においては他の項目に比べてやや低いので、四季を感じ、遊びに取り入れられる魅力的な環境に努めていく必要がある。今後も保護者と幼稚園の連携を大切に子供の成長を共有していきたいと考えている。また公立幼稚園の良さを地域にも積極的に発信していきたいと考えている。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、幼小交流の充実に向け、幼小の職員でそれぞれの教育内容について話し合う機会を設け、また園児児童の交流も積極的に行うなど、互恵性のあるものとなった。主体的な子供を育てるため、環境構成に焦点をあて、子供が伸び伸びと意欲的に遊べるよう工夫し、遊びを通して子供の学びや成長につながるような環境について全職員で話し合い、より良くなるよう改善に努めてきた。コロナ禍ということもあり地域への関わりが少なかったため、今後は地域と連携、交流にも意識を向けていきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

一人一人の園児の様子をしっかりとつみながら保育をされていると思われる。コロナ禍での保育、特に行事等は子供たちの安全に配慮し工夫して行ってきたことは評価できる。幼小交流についても幼稚園にとっても小学校にとってもメリットのあるものになっており、年間計画を立て行うなど幼小連携を意識していることが伺える。遊びの中で、色々な先生と関わり、一人の子供を多面的に見とりながら子供の理解が図られていることは大切なことであり、今後も大事にしてほしい。